

DIALOG(R)File 351:DERWENT WPI
(c) 2000 Derwent Info Ltd. All rts. reserv.

011242691 **Image available**

WPI Acc No: 1997-220594/199720

Panty type throw-away diaper - has front d back sides joined at back
side of wearer to improve wear comfort

Patent Assignee: KAO CORP (KAOS)

Number of Countries: 001 Number of Patents: 001

Patent Family:

Patent No	Kind	Date	Applicat No	Kind	Date	Week
JP 9066071	A	19970311	JP 95225420	A	19950901	199720 B

Priority Applications (No Type Date): JP 95225420 A 19950901

Patent Details:

Patent No	Kind	Lan Pg	Main IPC	Filing Notes
JP 9066071	A		4 A61F-013/15	

Abstract (Basic): JP 9066071 A

The panty type throw-away diaper is formed by a belly side portion (10), a back side portion (20), and a groin portion (30) while incorporating a liquid permeable top sheet (2), a liquid holding absorbing member (4), a liquid impermeable back sheet (3) and while forming a pair of right and left ined portions (40) by joining both side edges (11,12) of the belly side portion and both sides (21,22) of the back portion. Width of the belly side portion (10) is made to wider than that of the back side portion (20) so as to place the respective joined portions (40) at the back side of a wearer.

ADVANTAGE - Unpleasant feeling caused by rubbing between the joined portions and the body of the wearer is suppressed.

of

【特許請求の範囲】

【請求項1】 液透過性のトップシートと液保持性の吸収体と液不透過性のバックシートとを具備し、腹側部、背側部及び股下部が形成されており、腹側部の左右両側縁と背側部の左右両側縁とをそれぞれ接合固定して左右一対の接合部が形成されているパンツ型の使い捨ておむつにおいて、

上記腹側部の幅は、上記背側部の幅よりも広くなされており、一対の上記接合部が、着用者の背側よりに位置するようになされている、

ことを特徴とするパンツ型の使い捨ておむつ、

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は、装着者に優れたパンツ型の使い捨ておむつに関する。

【0002】

【従来の技術及び発明が解決しようとする課題】 従来より、パンツ型の使い捨ておむつとしては、液透過性のトップシートと液保持性の吸収体と液不透過性のバックシートとを具備し、腹側部、股下部及び背側部が形成されており、腹側部の左右両側縁と背側の左右両側縁とを接合固定してなるものが汎用されている。しかし、上述のパンツ型の使い捨ておむつは、上記接合固定による接合部が着用者のほぼ中心部（体の前後方向に対する中心部）に位置していたため、着用者の動作の度に、該接合部の下端部と着用者の体との当接部が擦れてしまい、着用者の肌を傷つけるなど、その装着性に問題があった。

【0003】 従って、本発明の目的は、接合部と着用者の体との当接部が擦れて着用者に不快感を与えることが少なく、装着性に優れたパンツ型の使い捨ておむつを提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明者等は、上記課題を解消するために鋭意検討した結果、接合部が背側に形成されてなるパンツ型の使い捨ておむつが上記目的を達成しうることを知見した。

【0005】 本発明は、上記知見に基づいてなされたもので、液透過性のトップシートと液保持性の吸収体と液不透過性のバックシートとを具備し、腹側部、背側部及び股下部が形成されており、腹側部の左右両側縁と背側部の左右両側縁とをそれぞれ接合固定して左右一対の接合部が形成されているパンツ型の使い捨ておむつにおいて、上記腹側部の幅は、上記背側部の幅よりも広くなされており、一対の上記接合部が、着用者の背側よりに位置するようになされている、ことを特徴とするパンツ型の使い捨ておむつを提供するものである。

【0006】

【発明の実施の形態】 以下、図面を参照して本発明を更に詳細に説明する。ここで、図1は、本発明のパンツ型の使い捨ておむつを示す展開図であり、図2は、図1に

示すパンツ型の使い捨ておむつを着用した状態を示す正面図であり、図3は、その側面図である。

【0007】 本実施例のパンツ型の使い捨ておむつ1は、図1に示すように液透過性のトップシート2と液保持性の吸収体4と液不透過性のバックシート3とを具備し（図3参照）、腹側部10、背側部20及び股下部30が形成されており、腹側部10の左右両側縁11、12と背側部20の左右両側縁21、22とをそれぞれ接合固定して左右一対の接合部40（図2及び3参照）が形成されている。このような構成は、通常公知のパンツ型の使い捨ておむつと同じである。

【0008】 更に詳述すると、本実施例の使い捨ておむつ1は、その股下部30が括れた形状に且つ腹側部側が別れた形状に形成されており、上記吸収体4は、腹側部側が小さく、背側部側が大きく形成されている。また、接合によりウエスト開口部を形成するウエスト部5と、レッグ開口部を形成するレッグ部6とは、ギャザーを形成するための弾性部材7、8が、それぞれ設けられている。尚、上記トップシート2、バックシート3、吸収体4及び弾性部材7、8の形成材料としては、通常パンツ型使い捨ておむつに用いられるものを特に制限なく用いることができる。また、上記接合は、通常のヒートシール等により行うことができる。

【0009】 而して、本実施例のパンツ型の使い捨ておむつ1は、上記腹側部10の幅1が、上記背側部20の幅nよりも広くなされており、一対の上記接合部40が、着用者の背側よりに位置するようになされている。

【0010】 ここで、上記の「背側より」とは、図3に示す体の前後方向に対する中心線（一点鎖線で示す線）よりも背側（後ろ側）にあることを意味する。

【0011】 また、上記腹側部10の幅1と、上記背側部20の幅nとの比1/nは、1.25～2.0であるのが好ましい。1.25未満であると、着用中に激しく動いたときに接合部と着用者の体との当接部が擦れて不快感を与えることがあり、2.0を超えると、接合部がおしりの方まで寄って吸収体上に存在するため、サイドシール本来の機能が損なわれたり、引き裂いたときに吸収体も同時に裂けないように吸収体の幅を狭くする必要が生じ、このように幅を狭くすると吸収性能を損ねる恐れがあるので、上記範囲内とするのが好ましい。また、上記背側部20の幅nは、上記股下部30の幅m（股下部の中でも最も幅が狭い箇所における幅）よりも広いのが好ましく、具体的には、上記背側部20の幅nと上記股下部30の幅mとの比n/mは、1.0～3.0であるのが好ましい。

【0012】 本実施例の使い捨ておむつ1は、上述のような構成を有しているため、着用者が激しく動いても接合部40が着用者の体と擦れにくい。従って、該接合部40により着用者の肌を傷つけたりして着用者に不快感を与える恐れが少なく、装着性に優れている。

【0013】次に、図4を参照して、本形態の使い捨ておむつの製造法について説明する。ここで、図4は、本発明の使い捨ておむつの製造過程を示す平面図である。本形態の使い捨ておむつを製造するには、バックシートの連続シート（図示せず）上の所定位置に吸収体4及び弾性部材7、8を載置した後、トップシートの連続シート（図示せず）を当接させて、図4に示す、おむつの連続シート1'を作成する。この際、吸収体4は、小さく形成された部分と大きく形成された部分、即ち、腹側に位置する部分と背側に位置する部分とが、連続シートの長手方向に対して交互に位置するように載置し、更に載置された吸収体の括れた部分に沿って、弾性部材8を載置する。そして、該連続シート1'を、図4に示すように、所定形状に切り抜いて、切抜部50を形成した後、更に所定箇所50'で切断することにより、連続的におむつを得ることができる。

【0014】次に、図5及び図6を参照して、本発明のパンツ型の使い捨ておむつの他の形態について説明する。ここで、図5は、本発明の他の形態のパンツ型の使い捨ておむつにおける着用状態を示す側面図であり、図6は、本発明の更に他の形態のパンツ型の使い捨ておむつにおける着用状態を示す側面図である。尚、特に詳述しない点については、上述した図1～3に示す形態の使い捨ておむつにおいてした説明が適宜適用される。

【0015】図5に示す形態のパンツ型の使い捨ておむつ1は、接合部40が、着用者の体の上下方向に対して、斜めになるようになされており、接合部端部4aが背側に位置するようになされている。図6に示す形態のパンツ型の使い捨ておむつ1は、接合部40が湾曲形状を有するようになされている。また、湾曲形状の頂部40b、40c及び40dには、左右の接合部を連結するように、各頂部間にそれぞれ、弾性部材7'、7'、7'が配されている。即ち、頂部40bは、背側部側に向けて湾曲しており、弾性部材7'は、背側部にのみ設けられている。また、頂部40cは、腹側部側に向けて湾曲しており、弾性部材7'は、腹側部にのみ設けられている。更に、頂部40dは、背側部側に向けて湾曲しており、弾性部材7'は、背側部にのみ設けられている。そして、接合部端部4a及び4eが背側に位置するよう

になされている。

【0016】図5及び図6に示す形態の使い捨ておむつのように、本発明において「上記腹側部の幅は、上記背側部の幅よりも広くなされており、一対の上記接合部が、着用者の背側よりに位置するようになされている」とは、該接合部の全てがこのような位置にあることを必要とするものではなく、少なくとも、おむつの下側の接合部端部4aにおいて、腹側部の方が背側部よりも大きくなされており、該接合部端部4aが背側部よりに位置していれば良い。

【0017】尚、本発明は、上述の実施例に限定されるものではなく、本発明の趣旨を逸脱しない範囲で種々変更が可能である。

【0018】

【発明の効果】本発明のパンツ型の使い捨ておむつは、接合部と着用者の体との当接部が擦れて着用者に不快感を与えことが少なく、装着感に優れたものである。

【図面の簡単な説明】

【図1】図1は、本発明のパンツ型の使い捨ておむつを示す展開図である。

【図2】図2は、図1に示すパンツ型の使い捨ておむつを着用した状態を示す正面図である。

【図3】図3は、図1に示すパンツ型の使い捨ておむつを着用した状態を示す側面図である。

【図4】図4は、本発明の使い捨ておむつの製造過程を示す平面図である。

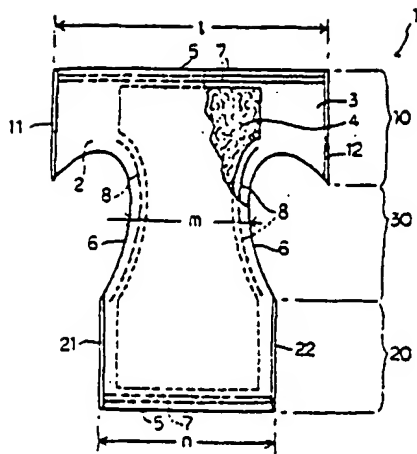
【図5】図5は、本発明の他の形態のパンツ型の使い捨ておむつにおける着用状態を示す側面図である。

【図6】図6は、本発明の更に他の形態のパンツ型の使い捨ておむつにおける着用状態を示す側面図である。

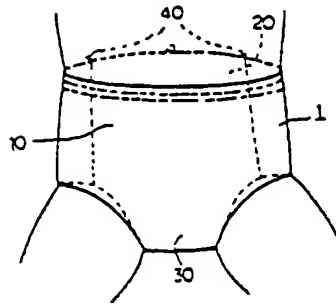
【符号の説明】

- 1 パンツ型の使い捨ておむつ
- 2 トップシート
- 3 バックシート
- 4 吸収体
- 10 腹側部
- 20 背側部
- 30 股下部

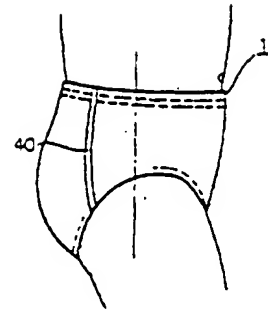
【図1】



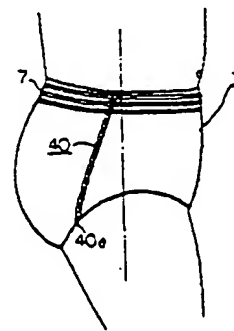
【図2】



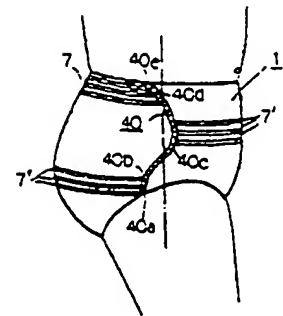
【図3】



【図5】



【図6】



【図4】

